

イノベーションの現場から

株式会社西岡工業（広島県広島市東区）

温故知新のスタイルが解決する現代の課題！

人材不足も技術承継さえも
乗り越える経営の軸とは？

若年人口の減少などの要因により、今やどの企業においても人手不足や技術承継は大きな課題となりつつあります。このテーマに対して、ある意味「時代に逆行する」



方法で一つの解を出しているのが、広島市東区の株式会社西岡工業。上下水道に関する機器据付工事という同社の事業は安定性こそ高いものの、決して働き手にとつての人気業種ではありません。しかし同社の二代目社長である西岡徳人社長は、社員一人ひとりを職人さんとして敬う父、またそのお世話に奔走する祖母の姿を幼い頃から目に焼き付けることで、経営者と社員のあるべき姿、また会社と人との関わり合いの理想型を、着実にイメージしていきました。本誌では西岡

徳人社長が実際に現在取り組んでいる組織イノベーションの手法と、その土台となっている考え方について、詳しく紹介しています。人材の確保と育成に悩む経営者の皆様にも、ここに一つのヒントがあるのではないのでしょうか。

代表取締役 西岡 徳人

2015年、父である現会長が立ち上げた西岡工業を引き継ぐ。若い頃から建設会社での下積みを長く経験し、働く人の人生観まで取り込んだ人材重視の経営理念設計に至る。趣味は読書で、興味のあることを深く追求するタイプ。

